

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51100 農業委員会運営費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性		市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略		
			項	1	農業費		根拠計画 農業振興地域整備計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	1	農業委員会費				
担当課	農政部 農務課	内線	2227						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 優良農地の保全と有効活用の観点から、農業委員会がより一層農地保全に資する客観的・中立的で公正な判断を行う。 農業委員会の効率的かつ透明な組織運営を行う。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会の審議・活動の「見える化」推進 農業委員会の総会の公開と、議事録の公表 日常的な「農地パトロール」の実施 遊休農地の発生防止と解消、違反転用の防止
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
担い手への農地集積率	43.8%	44.7%	60%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		23,109	21,376	23,260	26,209	25,003	3,627
特定財源	国費()						
	県費(農業委員会費10/10、県移譲事務交付金)	8,470	8,460	8,570	11,570	10,639	2,179
	その他(農業者年金業務雑入)	1,000	1,015	1,000	1,000	987	△ 28
一般財源		13,639	11,901	13,690	13,639	13,377	1,476
個票枝番	主な事業内容						
	農業委員会委員報酬	6,407	6,353	6,407	6,407	6,333	△ 20
	農地利用最適化推進委員報酬	11,988	11,469	11,988	11,988	11,797	328
	農業委員会委員報酬(地区委員)	2,000	1,990	1,990	1,990	1,980	△ 10
	委員1人1台タブレットによる現地調査の効率化			0	3,100	2,563	2,563

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
25,023	25,030	25,030	1,770	
5,706	5,829	5,829	△ 2,741	
987	980	980	△ 20	
18,330	18,221	18,221	4,531	
査定額	説明			
6,407	19人			
11,988	45人			
1,980	198人			
1,740				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会の開催(12回) 機関紙の発行(3回) 農業委員、農地利用最適化推進委員合同によるブロック会議の開催(5ブロック×2回) 榎まんな農場低温加工施設他(上宝町)の視察を実施 農業委員と市長との懇談会を開催 農業委員、農地利用最適化推進委員大会・地域別農業委員、農地利用最適化推進委員研修会[新型コロナウイルス感染症の影響により中止] 改良組合等を通じ、全農家に農家意向アンケートを配布し、農地の規模拡大、縮小の調査を行い、出し手と受け手のマッチングを推進した。 行政に対して「意見書」を提出し、新年度事業の政策提言を実施(市1回、県1回) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農家意向アンケートによる情報を基にした担い手への農地集積・集約化、農地のマッチングに向けた取り組みを行った。 農業委員が支所地域の農地状況や耕作状況を把握するため、月例で開催する農業委員会を支所で開催した。 非農家等に対する農地利用規制等の緩和について9月より運用を開始した。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員、農地利用最適化推進委員の欠員補充に向け必要な手続きを進める。 人・農地プランの目標地図素案作成に向け、農業委員や農地利用最適化推進委員、地域との合意形成を築く。 	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会の開催(12回) 機関紙の発行(3回) 農業委員、農地利用最適化推進委員合同によるブロック会議の開催(5ブロック×2回) 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会等の視察 農業委員と市長との懇談会を開催 農業委員、農地利用最適化推進委員大会・地域別農業委員、農地利用最適化推進委員研修会[新型コロナウイルス感染症の影響により中止] 改良組合等を通じ、全農家に農家意向アンケートを配布し、農地の規模拡大、縮小の調査を行い、出し手と受け手のマッチングを推進した。 行政に対して「意見書」を提出し、新年度事業の政策提言を実施(市1回、県1回) 委員を対象にタブレット操作研修会を実施 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農家意向アンケートによる情報を基にした担い手への農地集積・集約化、農地のマッチングに向けた取り組みを行った。 農業委員が支所地域の農地状況や耕作状況を把握するため、月例で開催する農業委員会を支所で開催した。(丹生川、清見、荘川、朝日、高根地域で計7回) 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 農地利用の最適化に向け、農業委員、農地利用最適化推進委員の連携した取り組みを進める。 地域計画の目標地図素案作成に向け、農業委員や農地利用最適化推進委員、地域との合意形成を築く。 	

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51200 農業振興地域整備計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産事業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	農業費		根拠計画画		農業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	農業総務費					
担当課	農政部 農務課	内線	2222							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 農業生産活動に必要な条件を備えた農業地域を保全形成する。 各種団体との情報交換等による地域農業の振興を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興計画(農地利用計画)により、集团的優良農用地の確保に努めるとともに、農業者等地域の諸情勢の変化に対応できるよう計画の変更等の管理を行う。 飛騨農業振興会、飛騨地域農業再生協議会、飛騨エアパーク協会等事業推進
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	229.9億円	241.8億円	230億円
担い手への農地集積率	43.8%	44.7%	60%
認定農業者数	546経営体	539経営体	610経営体

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	7,175	6,747	14,427	14,427	12,760	6,013
特定財源						
国費()						
県費(県移譲事務交付金)	30	30	30	30	60	30
その他()						
一般財源	7,145	6,717	14,397	14,397	12,700	5,983
個票枝番	主な事業内容					
	農業振興地域整備促進協議会委員及び農業経営基盤強化推進会議委員謝礼	380	177	340	114	△ 63
◎ 1	農業振興地域農用地区域特定作業		7,300	7,300	6,875	6,875

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
14,362	14,352	14,352	△ 75
30	60	60	30
14,332	14,292	14,292	△ 105
査定額	説明		
340	促進協議会19人、推進会議28人		
8,100			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興地域整備促進協議会及び農業経営基盤強化推進協議会を各1回開催した。 各種団体の活動に積極的に参加し、地域農業の振興を図った。 局所的な災害が増加していることから、継続して各種共済など農業保険の加入を促進した。 飛騨エアパークについては今後の利活用のため、県が主体となり関係機関と協議している。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 水稲共済の令和3年産の引受面積は1,535ha(2,398戸)から1,465ha(2,301戸)へと減少した。 園芸施設共済の引受棟数は令和2年度12,524棟(570戸)から令和3年度11,908棟(538戸)に減少した。 各種団体の活動目的はそれぞれ異なるものの、活動内容についてはコロナ禍や事業効果を踏まえて見直す必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 局所的な災害が増加していることから、各種共済及び収入保険の加入促進に努める。 各団体の活動内容については、コロナ禍や事業効果を踏まえて見直す必要がある。 各種会議等に積極的に参加し、将来を見据えた農業施策を検討する。 飛騨エアパークについては、今後のあり方とともに負担金についての検討を継続する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興地域整備促進協議会及び農業経営基盤強化推進協議会を各1回開催した。 局所的な災害が増加していることから、各種共済及び収入保険の加入促進に努めた。 飛騨エアパークについては、今後のあり方を検討するとともに負担金については見直しを行った。 農業振興地域整備計画基礎調査を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 水稲共済の令和4年産の引受面積は1,465ha(2,301戸)から1,090ha(1,829戸)へと減少した。 園芸施設共済の引受棟数は令和3年度11,908棟(538戸)から令和4年度11,919棟(531戸)と戸数は減少し、棟数は増加した。 各種団体の活動目的はそれぞれ異なるものの、活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。 農業振興地域整備計画基礎調査により、57,522筆の農用地を特定した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 局所的な災害が増加していることから、各種共済及び収入保険の加入促進に努める。 飛騨エアパークについては、今後のあり方の検討を継続する。 農業振興地域整備計画基礎調査を踏まえ、農用地のあり方を協議する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	51200 農業振興地域整備計画推進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	農政部農務課
枝番・内容	1 農業振興地域土地調査業務委託		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	5		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	農業費	内線	2227
			<input type="checkbox"/>		目	2	農業総務費	作成年月	R5.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・今後守るべき農地(優良農地)を明らかにし、市の将来的な農業施策に結び付ける	概要	・基礎調査による変更を実施するにあたり、令和7年度に県の事前協議、農振変更手続きを行うため、事前調査等の業務を委託する。 令和4～6年度(農用地の特定作業、基礎資料の作成、整備計画書作成)
----	--	----	---

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	7,300
主な経費	・農業振興地域土地調査業務委託	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	7,300
	繰越	
	補正等	
	最終	7,300
決算額		6,875
対前年度増減額(決算)		6,875

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	8,100
主な経費	・農業振興地域土地調査業務委託	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・農業振興地域整備計画基礎調査(農用地区域特定作業)
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・農振農用地地番リストの作成し、土地課税台帳との突合を行った。 ・現況調査用資料(地図等)、各筆調書の作成・整理を行った。 ・農振農用地からの除外検討筆リストを作成した。 ・不突合リストを作成した。
[評価等]	・令和7年度に予定している農業振興地域の見直しに向け、農用地を特定し、データ化を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・農業振興地域整備計画基礎調査(基礎資料作成作業)
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 基礎資料の作成 ・令和6年度 計画位置図、附図作成 ・令和7年度 農業振興区域の見直し

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51300 営農推進対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産事業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上	
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2222							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>地域の中心となる農業経営体への農用地利用集積を促進し、経営規模の拡大・農業経営の安定を図るとともに、不作付地の解消を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産調整の確実で円滑な実施。 高山営農推進協議会が、各集落における現状の把握、問題点の整理、解決方法の検討、各種政策の推進及び研修を行うことで、地域農業の活性化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 「人・農地プラン」に基づき、地域の中心となる農業経営体への農地集積や集約化を推進する。 立地条件に合った水田の有効活用を促進する。 農業経営体の育成及び強化を行うため講座や研修会を開催する。 農業改良組合や営農推進協議会などの農業者団体との連携強化を図る。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	229.9億円	241.8億円	230億円
担い手への農地集積率	43.8%	44.7%	60%

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
		24,026	19,024	24,228	93,228	23,020	3,996	
特定財源	国費(水稲肥料価格高騰対策事業費 10/10)				53,000	4,000	4,000	
	県費(経営所得安定化対策事業費等 10/10等)	12,100	8,968	13,004	13,004	7,953	△ 1,015	
	その他(夢・まちづくり基金繰入金、受託事業収入)	1,100	283	1,100	1,100	40	△ 243	
一般財源		10,826	9,773	10,124	26,124	11,027	1,254	
個票枝番	主な事業内容							
	水稲病害虫共同防除に対する助成	2,000	1,687	1,800	1,800	1,043	△ 644	
	農地集積協力者に対する助成	5,400	1,780	5,400	5,000	710	△ 1,070	
	経営所得安定対策の推進活動に対する助成	6,200	6,384	6,800	6,800	6,365	△ 19	
	飛騨の美味しいお米食味コンクール実行委員会負担金	310	304	304	304	306	2	
	水稲肥料価格高騰対策事業				69,000	5,977	5,977	
	地域農業組織の基盤強化に対する助成	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	0	
	GAP(農業生産工程管理)認証取得に対する助成	1,000	225	1,000	1,000	0	△ 225	

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		28,000	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
20,722	20,730	20,730	△ 3,498				
9,897	9,840	9,840	△ 3,164				
100	100	100	△ 1,000				
10,725	10,790	10,790	666				
査定額	説明						
1,500							
2,640	農地集積事業補助金、就農支援農地確保事業補助金						
6,400	飛騨地域農業再生協議会への補助金						
306							
5,000	地域農業組織強化支援事業補助金						
1,000	GAP認証取得支援事業補助金						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 水稲損害防止のための共同防除を実施した団体への助成(13団体、986ヘクタール) 農地集積協力者への助成(23件、10.2ヘクタール) 施設園芸就農希望者への農地貸付者に対する助成(2件、0.67ヘクタール) 米の生産数量目標達成のための助成(1団体) 米コンビだの開催 GAP認証を取得する生産者への助成(1団体) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の拡大を図った。 米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により飼料用米等の新規需要米への作付け転換を推進し、水田の有効活用を図った。 水稲病害虫共同防除事業補助金により、水稲損害防止のための共同防除を促進し、品質・収量の安定化を図った。 GAP認証取得の推進を行ったが、1農業者の活用にとどまった。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 農業の担い手(認定農業者)への農地利用集積を促進する。 「人・農地プラン」の作成・見直しを通じ、地域の農業者とともに話し合いをすすめる。 経営所得安定対策事業補助金等の活用により、水田の適地適品種の作付けや稲作の安定経営を図る。 水稲病害虫共同防除事業補助金については、令和4年度より補助回数を見直す。 	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 水稲損害防止のための共同防除を実施した団体への助成(13団体、1,113ヘクタール) 農地集積協力者への助成(6件、5.59ヘクタール) 施設園芸就農希望者への農地貸付者に対する助成(1件、0.27ヘクタール) 米の生産数量目標達成のための助成(1団体) 米コンビだの開催 資材高騰を受けて、国の支援の対象とならない小規模水稲を対象とした水稲肥料価格高騰対策事業を実施した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の拡大を図った。 米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により飼料用米等の新規需要米への作付け転換を推進し、水田の有効活用を図った。 水稲病害虫共同防除事業補助金により、水稲損害防止のための共同防除を促進し、品質・収量の安定化を図った。補助回数については2回から1回に見直した。 GAP認証取得の推進を行ったが、活用実績がなかった。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 農業の担い手(認定農業者)への農地利用集積を促進する。 「地域計画」の作成を通じ、地域の農業者とともに話し合いをすすめる。 経営所得安定対策事業補助金等の活用により、水田の適地適品種の作付けや稲作の安定経営を図る。 資材高騰については国の支援状況を注視し、市として支援できることを検討する。 	

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51305 農業体験施設等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産事業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上	
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2223							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・都市と農村との交流増加による地域の活性化 ・農業体験、自然体験を通じた子供たちの健全育成 ・生産、収穫などの農業体験を通じて、家族とのふれあいや地域の農業、農作物に対する理解を深める。 ・生きがいをもち、健康でゆとりのある生活の実現を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を活用し、農業体験、自然体験の場を提供する(巣野俣野外研修施設、すのまたふるさと学校体験学習施設、彦谷の里滞在型農園施設、清見里人学校、おっぱら自然体験センター、荒城農業体験交流館) ・市民ふれあいファミリー農園を提供する(塩屋、下切)
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
新規就農者数(年間)	18名	16名	30名

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		41,400	40,184	34,895	36,485	31,875	△ 8,309
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(指定管理事業雑入(農業施設)等)	769	764	769	769	749	△ 15
一般財源		40,631	39,420	34,126	35,716	31,126	△ 8,294
個票枝番	主な事業内容						
	荒城農業体験交流館ほか5施設の管理運営(指定管理)	29,170	28,668	26,970	28,560	27,847	△ 821
	施設修繕	1,400	1,361	5,000	5,000	2,200	839

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		30,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
33,201	35,101	35,101	206	
769	769	769	0	
32,432	34,332	34,332	206	
査定額	説明			
28,440	指定管理委託料			
3,300				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・6施設の利用者数(指定管理事業のみ) 5,539人 (すのまたふるさと学校 22人、巣野俣野外研修施設 381人、清見里人学校 554人、彦谷の里滞在型農園施設 834人、おっぱら自然体験センター 1,624人、荒城農業体験交流館 2,124人) ・荒城農業小学校参加児童数 83人 ・市民農園利用区画数 塩屋農園 60区画、下切農園 39区画
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化を図った。 ・コロナ禍で利用客が減少した中において効率的な経営を図りながら、利用者が快適に利用できるような適正管理に努めた。 ・広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒介により利用者を広く募集する必要がある。 ・公共施設総合管理計画に基づく、施設の統廃合等を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し地域の活性化をめざす。 ・利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理に努める。 ・広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒体により利用者を広く募集する。 ・譲渡を予定している施設については、施設譲渡に向けての協議を進める。

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・6施設の利用者数 12,971人 (すのまたふるさと学校 2,493人、巣野俣野外研修施設 1,872人、清見里人学校 1,439人、彦谷の里滞在型農園施設 1,616人、おっぱら自然体験センター 2,700人、荒城農業体験交流館 2,851人) ・荒城農業小学校参加児童数 80人 ・市民農園利用区画数 塩屋農園 58区画、下切農園 37区画 ・清見里人学校について、新たな利用(学校施設)のため、用途廃止をおこなった。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化を図った。 ・コロナ禍で利用客が減少した中において効率的な経営を図りながら、利用者が快適に利用できるような適正管理に努めた。 ・広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒介により利用者を広く募集する必要がある。 ・公共施設総合管理計画に基づく、施設の統廃合等を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し地域の活性化をめざす。 ・利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理に努める。 ・広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒体により利用者を広く募集する。 ・譲渡を予定している施設については、施設譲渡に向けての協議を進める。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験、自然体験施設の適正な管理運営に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51310 農作物獣害防止対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	農業費		根拠計画		鳥獣被害防止計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2223							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害に強い地域づくり、安定した農業経営及び農作物の生産を図ることにより、農業生産意欲の向上と耕作放棄地の発生を抑制する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみによる鳥獣被害防止対策の推進(研修会の開催促進、鳥獣侵入防止柵等の設置支援) 猟友会を中心に任命された鳥獣被害対策実施隊による安全かつ適正な有害鳥獣の捕獲 農家等の狩猟免許取得を促進し、捕獲技術者の確保・育成を図る。
----	--	----	---

総会計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
鳥獣による農作物被害面積(年間)	28.4ha	38.7ha	35ha

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		82,418	62,088	74,050	74,050	58,527	△ 3,561
特定財源	国費()						
	県費(鳥獣被害防止対策事業費10/10等)	18,868	13,877	21,057	21,057	16,381	2,504
	その他()						
一般財源		63,550	48,211	52,993	52,993	42,146	△ 6,065
個票枝番	主な事業内容						
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(国県補助)	6,000	3,904	9,000	9,000	7,935	4,031
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(市単独)	10,000	6,769	8,000	8,000	4,111	△ 2,658
	有害鳥獣の捕獲	45,000	39,050	40,000	40,000	36,588	△ 2,462
	鳥獣被害対策実施隊	6,940	6,176	6,830	6,830	6,014	△ 162
	ニホンジカの個体数調整捕獲	3,800	2,400	3,800	3,800	2,550	150
	鳥獣被害防止対策協議会に対する助成	3,200	1,475	2,200	2,200	1,400	△ 75
	捕獲技術者の育成	6,800	1,743	3,000	3,000	1,903	160

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		86,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
75,310	73,770	73,770	△ 280	
18,775	17,618	17,618	△ 3,439	
56,535	56,152	56,152	3,159	
査定額	説明			
6,000				
8,000				
43,000				
6,650				
3,800				
1,800				
2,800				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 侵入防止柵の設置支援:実施箇所数:17箇所、受益面積:58.93ha 鳥獣被害対策実施隊員数 317名(免許所持者:191名、補助者:126名) 捕獲技術者育成 12名 捕獲数量(有害) イノシシ:442頭、サル:191頭、ニホンジカ:867頭、クマ:50頭、カラス:1羽 狩猟捕獲特別報奨 イノシシ:20頭、ニホンジカ個体数調整捕獲 160頭
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲技術者育成により、捕獲従事者の技術継承が図られた。 地域ぐるみで農地を守る取り組みを推進するため、捕獲体制作りを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲を含む地域ぐるみの鳥獣被害防止対策や、鳥獣の個体数管理等を総合的に、被害軽減を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 侵入防止柵の設置支援:実施箇所数:13箇所、受益面積:65.66ha 鳥獣被害対策実施隊員数 299名(免許所持者:186名、補助者:113名) 捕獲技術者育成 8名 捕獲数量(有害) イノシシ:475頭、サル:145頭、ニホンジカ:768頭、クマ:38頭、カラス:19羽 狩猟捕獲特別報奨 イノシシ:12頭、ニホンジカ個体数調整捕獲 170頭
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲技術者育成により、捕獲従事者の技術継承が図られた。 地域ぐるみで農地を守る取り組みを推進するため、捕獲体制作りを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲を含む地域ぐるみの鳥獣被害防止対策や、鳥獣の個体数管理等を総合的に、被害軽減を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 獣害柵等の設置から捕獲技術者育成、捕獲作業に対する事業まで、総合的に鳥獣被害を防止するために必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51315 農業制度資金等利子補給事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上	
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2226							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくすることで、農業経営の改善を図る。	概要	・農業経営基盤強化資金などの借入資金にかかる利子を補給(助成)する。
----	--	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	229.9億円	241.8億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	1,270	1,079	1,540	1,540	1,121	42
特定財源						
国費()						
県費(農業経営基盤強化資金利子補給金 1/2)	335	287	285	285	244	△ 43
その他()						
一般財源	935	792	1,255	1,255	877	85
個票枝番	主な事業内容					
	農業経営基盤強化資金利子補給金(債務負担)	670	575	570	488	△ 87
	災害復旧支援融資資金利子補給金(債務負担)	30	29			△ 29
	新型コロナウイルス対策利子補給金	480	475	970	631	156
	令和2年7月豪雨災害復旧支援融資利子補給金	90	0			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
838	850	850	△ 690	
237	240	240	△ 45	
601	610	610	△ 645	
査定額	説明			
480				
370				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	農業経営基盤強化資金利子補給 件数19件 災害復旧支援融資資金利子補給 件数 4件 新型コロナウイルス対策利子補給 件数 5件
評価等	・新型コロナウイルス緊急経済対策としての利子補給は動向等を踏まえて事業の実施について検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・農業を行うために必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。 ・令和2年度7月豪雨災害復旧支援農業者向け融資利子補給金については、R2年度借入者がいないため、R4年度廃止する。

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	農業経営基盤強化資金利子補給 件数 18件 新型コロナウイルス対策利子補給 件数 9件
評価等	・借入れに伴い必要な利子補給を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・農業を行うために必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。

担当課 予算要求 ポイント	・農業経営改善や新型コロナウイルス感染症対策等の融資に対する利子補給に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51320 新規就農者等育成支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上	
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2224							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 次代を担う新規就農者及び農業後継者等の育成・定着を図り、地域農業を持続的に発展させる。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 就農希望者を対象とした実践的な就農研修支援事業の実施 新規就農者等の農地賃借料に対する助成 農業後継者団体等に対する助成 認定新規就農者等の経営を安定させるために給付金等を給付
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
新規就農者数	18人	16人	30人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3		R4				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	72,780	54,063	63,000	63,000	39,428	△ 14,635	
特定財源							
国費()							
県費(青年就農者支援事業費10/10・就農研修支援事業費10/10等)	66,180	51,699	56,410	56,410	32,331	△ 19,368	
その他(夢・まちづくり基金収入等)	763	0	659	659			
一般財源	5,837	2,364	5,931	5,931	7,097	4,733	
個票枝番	主な事業内容						
	新規就農者の経営規模拡大に対する助成	1,000	646	960	960	520	△ 126
	就農体感ツアー、就農移住相談会、短期研修ほか	820	523	880	880	735	212
	就農希望者に対する実践的な農業研修の支援	2,400	1,350	1,600	1,600	1,200	△ 150
	50歳未満の独立・自営就農者に対する助成	42,750	39,860	41,250	41,250	25,495	△ 14,365
	農業後継者に対する助成(農業後継者の経営参画等に対する助成)	16,000	11,500	16,000	16,000	10,500	△ 1,000
	農業後継者に対する助成(農業団体への活動に対する助成)	1,270	184	1,270	1,270	580	396
	50歳未満で就農する長期研修生に対する助成	7,500	0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		59,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
74,765	72,420	72,420	9,420	
59,846	62,500	62,500	6,090	
417	702	702	43	
14,502	9,218	9,218	3,287	
査定額	説明			
750	新規就農者規模拡大事業補助金			
960				
4,000	農業研修生受入農家への謝礼			
51,400	新規就農者育成総合対策			
13,000				
1,270				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 就農希望者の実践的就農研修の受入 4名 農業後継者組織の活動に対する助成 2団体 農業後継者就農給付金等による後継者就農等への支援 12名 新規就農者等への農地賃借料に対する助成 18名 青年就農者支援事業補助金による新規就農者等への支援 29件 新規就農相談件数 76件 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<p>就農希望者等が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援やフォローアップ及び支援情報等の積極的な発信により、新規就農者等の確保及び農業への定着を図っていく必要がある。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者育成総合対策(経営開始資金)等の支援事業を積極的に活用し、新規就農者のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。 コロナ禍に対応した就農情報サイトの登録やリモート面談等で、高山市の支援情報を積極的に発信する。 就農につながる研修生を確保するため、新規就農者育成総合対策(就農準備資金)を活用し、就農前の不安定な環境を下支えする。 	

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 就農希望者の実践的就農研修の受入 3名 農業後継者組織の活動に対する助成 2団体 農業後継者就農給付金等による後継者就農等への支援 11名(内1組夫婦) 新規就農者等への農地賃借料に対する助成 15名 青年就農者支援事業補助金による新規就農者等への支援 22件(次世代20件+経営発展1件+初期投資1件) 新規就農相談件数 95件 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<p>就農希望者等が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援やフォローアップ及び支援情報等の積極的な発信により、新規就農者等の確保及び農業への定着を図っていく必要がある。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者育成総合対策(経営開始資金)等の支援事業を積極的に活用し、新規就農者のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。 各種就農移住相談会の活用や農情報サイトの登録等により、高山市の支援情報を積極的に発信する。 就農につながる研修生を確保するため、新規就農者育成総合対策(就農準備資金)を活用し、就農前の不安定な環境を下支えする。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者・就農を目指す研修生などの支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定 の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51325 地域特産物振興助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産事業費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	1	農業費	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2223							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・地域の特色ある産地産品づくりを推進するため、特色ある農産物の掘り起しを行い、それらの生産者組織を支援することにより、地域特産物の生産拡大、高品質化、新商品開発等を促進し、地域の活性化を図る。</p>	概要	<p>・各段階に応じた下記の取組みに要する経費に対し補助金を交付 【ステップ1 発掘】 地域の特色を活かして取り組もうとする新たな農産物の選定、栽培技術の確立及び生産販売体系の構築等 【ステップ2 育成】 地域の特色を活かした農産物の生産拡大や高品質化 【ステップ3 振興】 地域の特色を活かした農産物を利用した新商品開発や販売促進活動</p>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	229.9億円	241.8億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,000	598	1,500	1,500	728	130
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(夢・まちづくり基金繰入金)						
一般財源		2,000	598	1,500	1,500	728	130
個票枝番	主な事業内容						
	地域特産物発掘(新たな農産物の選定、栽培技術・販売体系の確立への助成)	500	500	500	500	228	△ 272
	地域特産物育成(生産拡大や高品質化への助成)	1,000		500	500	500	500
	地域特産物振興(新商品開発や販売促進活動への助成)	500	98	500	500		△ 98

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,500	2,500	2,500	1,000	
	1,000	1,000	1,000	
2,500	1,500	1,500	0	
査定額	説明			
1,000				
1,250				
250				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ1 吉城きのこ生産出荷組合(きくらげ、3年目) ・ステップ3 高山市有機農業推進協議会(伝統野菜、5年目)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・JAや各研究会と協力して実施するとともに、生産量・販売量・加工研究等の検証を行い、事業の効果을あげるように取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国等の事業は規模や予算が大きくないと該当しないため、新規の小さな取組の支援として継続が必要。 ・地域の特色を活かした農産物振興のため、段階的なステップを設けて支援を進めているが、より事業効果が上がるよう検討を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ1 ハスカップ栽培研究会(ハスカップ、1年目) ・ステップ2 飛騨蔬菜出荷組合特産部会飛騨パブリカ班(パブリカ、1年目)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・JAや研究会と協力して実施するとともに、生産量・販売量・加工研究等の検証を行い、事業の効果을あげるように取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国等の事業は規模や事業費が大きくないと該当しないため、新規の小さな取組の支援として継続が必要。 ・地域の特色を活かした農産物振興のため、段階的なステップを設けて支援を進めているが、より事業効果が上がるよう検討を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色ある産地産品づくりを推進するための支援に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・要求どおり
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・財務部査定のとお

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51330 6次産業化支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築	
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2225							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業者による6次産業化を支援することで付加価値の高い産地産品づくりを促進し、農産物のブランド化、農業者の持続的かつ健全な発展及び地域の活性化を図る。	概要	・農業者が新たな加工・流通・販売に取組む場合に必要施設、機械、機具類の整備費等に対して助成する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	229.9億円	241.8億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,000	790	2,000	2,000	512	△ 278
特定財源	国費()						
	県費(農業6次産業化促進支援事業費 10/10)	2,000	790	2,000	2,000	512	△ 278
	その他()						
一般財源			0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	6次産業化(生産・加工・販売)に対する助成	2,000	790	2,000	2,000	512	△ 278

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		4,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,000	2,000	2,000	0	
2,000	2,000	2,000	0	
0	0	0		
査定額	説明			
2,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・事業者1件(アップルパイの製造に必要な機械 急速冷却凍結機)
評価等	・農業者による6次産業化を支援し、付加価値の高い産地産品づくりの促進に寄与した。 ・機械導入後の目標達成率が低いため、継続した販路開拓や品質等改善の支援が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・事業者1件(焼き芋の製造に必要な機械 プレハブ冷蔵庫、遠赤外線焼き芋機)
評価等	・農業者による6次産業化を支援し、付加価値の高い産地産品づくりの促進に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・農業者による6次産業化の支援に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51335 農業施設等整備費助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2226							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 化学合成農薬や化学肥料の使用削減を図るぎふクリーン農業を基本に、品質向上や生産性の向上、環境保全効果の高い営農方法の導入等により、消費者に信頼される安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりを推進する。 新規就農者や意欲ある経営体等の育成・確保を図り、地域農業の持続的な発展に寄与する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心・健康でブランド力のある売れる農産物づくりを推進するため必要となる機械・施設等の導入経費に対して助成する。 意欲ある多様な経営体から計画する経営改善目標の達成に向け必要な農業用機械、施設等に直接支援することにより、農業経営体の経営の拡大や改善を図る。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	229.9億円	241.8億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	85,000	72,728	59,300	59,300	48,733	△ 23,995	
特定財源							
国費()							
県費(農業総合整備事業費1/4、経営体育成支援事業費3/10 等)	56,400	47,835	39,400	39,400	30,106	△ 17,729	
その他()							
一般財源	28,600	24,893	19,900	19,900	18,627	△ 6,266	
個票枝番	主な事業内容						
	農業用機械・施設の導入に対する助成	75,000	65,491	51,000	51,000	47,652	△ 17,839
	融資を活用した農業用機械の導入に対する助成(旧強い農業・担い手づくり・農地利用効率化等支援)	4,000	7,237	2,600	2,600	1,081	△ 6,156
	融資を活用した農業用機械の導入に対する助成(担い手確保・経営強化支援)	6,000	0	5,700	5,700	0	0
	中山間地域等担い手育成に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		97,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
83,483	83,500	83,500	24,200	
59,833	59,800	59,800	20,400	
23,650	23,700	23,700	3,800	
査定額	説明			
62,500				
5,000				
15,000				
1,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業総合整備事業(雨よけハウス、機械導入等) 6団体 11経営体 強い農業・担い手づくり支援事業(トラクター等) 2経営体 担い手確保・経営体強化支援事業(ニラ用播種機、移植機等) 1経営体
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 事業の早期着工に向け、引き続き事業実施主体、県等と連携して推進していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の精度を高め、個々の事業を精査し事業全体の推進に努める。 事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。 事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。 市のホームページ等で事業内容をPRし、新規就農支援者相談や各種会議・会合等で要望量を把握し、事業推進に努める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業総合整備事業(雨よけハウス、機械導入等) 4団体 1経営体 強い農業・担い手づくり支援事業(トラクター等) 1経営体
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 事業の早期着工に向け、引き続き事業実施主体、県等と連携して推進していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の精度を高め、個々の事業を精査し事業全体の推進に努める。 事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。 事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。 新規就農支援者相談や各種会議・会合等で事業内容を紹介し、アンケート調査等で要望量を把握し、事業推進に努める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ブランド力のある売れる農産物づくりを推進するための機械施設の導入支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 精算内容を精査
-------------------	---

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり
--------------	---

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51337 スマート農業導入事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上	
			項	1	農業費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2226							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高齢化等で農業の担い手が減少するなか、限られた労力で高い成果を上げられる環境づくりをすすめる。	概要	・ICTやAIなどの最新技術を利用した農業機械の導入に対する支援
----	--	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	229.9億円	241.8億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		6,000	3,650	6,000	6,000	3,869	219
特定財源	国費()						
	県費(スマート農業技術導入支援事業補助金2/3)	4,000	2,434	4,000	4,000	2,580	146
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	0
一般財源		1,000	216	1,000	1,000	289	73
個票枝番	主な事業内容						
	ICTを活用した農業機械の導入に対する支援	6,000	3,650	6,000	6,000	3,869	219

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		6,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
6,000	6,000	6,000	0	
4,000	4,000	4,000	0	
			△ 1,000	
2,000	2,000	2,000	1,000	
査定額	説明			
6,000	スマート農業技術導入事業補助金			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・環境モニタリングセンサー 3台 ・防除用ドローン 2台
評価等	・ICT・AI等のスマート農業技術機械導入により、省力化・労働力不足の解消に効果を発揮している。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・スマート農業技術の導入に関する支援を継続して進めていく。 ・実証実験等の成果を活かし、地域に適したスマート農業の推進を行う。

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・防除用ドローン 4台
評価等	・ICT・AI等のスマート農業技術機械導入により、省力化・労働力不足の解消に効果を発揮している。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・スマート農業技術の導入に関する支援を継続して進めていく。 ・関係機関の実証実験等の成果を活かし、地域に適したスマート農業の推進を行う。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51340 地産地消推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築		
			項	1	農業費		根拠計画				産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
			目	3	農業振興費						
担当課	農政部 農務課	内線	2225								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域で生産されたものを地域で消費する。 生産者の顔がみえ、新鮮で安全安心な農産物が供給される。 地域の農業と関連産業の活性化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消に取り組む事業者の情報発信や消費者と生産者の連携を強化し、地産地消を推進する。 市内の小中学校等大量調理施設において、地域農産物の利用促進を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	229.9億円	241.8億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		5,550	4,056	5,360	5,360	4,470	414
特定財源	国費()						
	県費(学校給食地産地消事業費 1/3)	1,000	924	1,100	1,100	919	△ 5
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		4,550	3,132	4,260	4,260	3,551	419
個票枝番	主な事業内容						
	生産者と食品関連事業者とのマッチングイベント等	1,150	202	1,060	1,060	541	339
	学校給食での県内産米、小麦粉、野菜等の利用促進	4,400	3,854	4,300	4,300	3,929	75

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		5,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
6,098	6,070	6,070	710	
1,100	1,100	1,100	0	
4,998	4,970	4,970	710	
査定額	説明			
1,170	地産地消推進PR事業の実施			
4,900				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍によるまん延防止措置により、各種事業が直前に中止・延期となる中で料理教室1回、飛騨をまるごと食べんな月間における啓蒙事業の実施、手作り弁当の募集、小学校における食育講座、HP等での情報発信、新たな地産地消認証制度創設への協議を行った。 学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、小中学校の学校給食における地元産・県産農産物の積極的な活用の推進 学校給食における県内産農産物の利用量 178トン 学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率 63.8% 公設地方卸売市場の取扱量に占める飛騨産食材の比率 12.7% 地産地消の取り組みを発信する店舗・団体数 234件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施により、農業者・商工業者・消費者等がコミュニケーションを図ることで、地域産業の活性化につながっている。 地域農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取り組みを、地産地消推進会議と連携し、更に強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域特産物の利用拡大を推進していく中で、地域の農業と関連産業を結び付ける事業を展開する。 より地産地消が推進されることを目的とした新たな地産地消認証制度を検討する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨をまるごと食べんな月間における啓蒙事業の実施、手作り弁当の募集、小学校における食育講座、料理教室2回、講演会など2回、農家ツアー1回、HP等での情報発信、新たな地産地消認証制度創設への協議を行った。 学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、小中学校の学校給食における地元産・県産農産物の積極的な活用の推進 学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率 62.8% 公設地方卸売市場の取扱量に占める飛騨産食材の比率 12.5% 地産地消の取り組みを発信する店舗・団体数 229件 主要な直売所の年間販売額(17箇所) 538,375千円
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施により、農業者・商工業者・消費者等がコミュニケーションを図ることで、地域産業の活性化につながっている。 地域農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取り組みを、地産地消推進会議と連携し、更に強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域特産物の利用拡大を推進していく中で、地域の農業と関連産業を結び付ける事業を展開する。 より地産地消の取り組みが進むよう、関係者との検討を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食での地元農産物の利用推進と地産地消推進事業を実施するために必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51350 環境保全型農業推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	農業費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2225							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・廃ビニールの適正処理、農業の安全使用の徹底など地域環境の保全を図る。 ・地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、国が定める特定の営農活動を支援し、環境保全型農業を推進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市の農業と環境を守る協議会と、JA等関係団体と協議し、廃ビニールの処理にかかる費用を助成する。 ・国、県と協議し、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う経営体に対して交付金による直接支援を行う。
----	--	----	--

総会計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	229.9億円	241.8億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,900	2,548	4,300	4,300	3,737	1,189
特定財源	国費()						
	県費(環境保全型農業支援事業費3/4)	1,650	1,509	2,770	2,770	2,374	865
	その他()						
一般財源		1,250	1,039	1,530	1,530	1,363	324
個票枝番	主な事業内容						
	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対する助成	2,200	2,012	3,700	3,700	3,166	1,154
	使用済農業用資材の適正処理に対する助成	700	536	600	600	571	35

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		3,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,339	5,300	5,300	1,000	
3,554	3,520	3,520	750	
1,785	1,780	1,780	250	
査定額	説明			
4,700				
600				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を助成した。(フレコンバック536袋) ・国・県と連携し、環境保全型農業に取り組む経営体に対して交付金による直接支援を行った。(交付金面積2,075a)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・農業団体や関係機関とともに、農業用廃ビニールの適正処理や環境保全型農業への取り組みを支援したことにより、地球温暖化防止や生物多様性保全を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した営農活動を推進する。 ・環境保全型農業に取り組む農業者の環境への効果、活動のPRを支援しながら、さらなる推進を図る。 ・廃ビニールの適正処理に関わる補助については、処理方法も定着されてきていることから事業終期を令和6年度とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を助成した。(フレコンバック571袋) ・国・県と連携し、環境保全型農業に取り組む経営体に対して交付金による直接支援を行った。(交付金面積4,348a)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・農業団体や関係機関とともに、農業用廃ビニールの適正処理や環境保全型農業への取り組みを支援したことにより、地球温暖化防止や生物多様性保全を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した営農活動を推進する。 ・環境保全型農業に取り組む農業者の環境への効果、活動のPRを支援しながら、さらなる推進を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input checked="" type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・環境にやさしい農業に取り組むための活動の支援に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51355 中山間地域等直接支払事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	農業費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2229							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・耕作放棄地の増加等により水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保する。	概要	・中山間地域等の農業生産条件が不利な地域において、5年以上農業を続けることを約束した農業者等に対して支援する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	229.9億円	241.8億円	230億円
担い手への農地集積率	43.8%	44.7%	60%

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		172,000	171,770	172,800	172,800	172,652	882
特定財源	国費()						
	県費(中山間地域等直接支払事業費 2/3、3/4、10/10)	128,500	128,339	129,100	129,100	128,957	618
	その他()						
一般財源		43,500	43,431	43,700	43,700	43,695	264
個票枝番	主な事業内容						
	中山間地域等直接支払事業に対する助成	171,800	171,570	172,600	172,542	172,394	824

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		178,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
175,630	175,640	175,640	2,840	
131,233	131,240	131,240	2,140	
44,397	44,400	44,400	700	
査定額	説明			
175,440	94協定			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 協定締結数 94協定 事業参加面積 1,241ha
評価等	・中山間地域における持続的な農業や集落活動への支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新規に取り組みを希望する集落の掘り起こしを行い、耕作放棄地の解消や予防を促進していく。 第5期(R2~R6)事業にて新規拡充された事業メニュー(集落機能加算等)について、各組織に周知を行い、事業の活用を広める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 協定締結数 94協定 事業参加面積 1,245ha 新規拡充された事業メニュー(集落機能加算等)について、各組織への説明を行う。
評価等	・中山間地域における持続的な農業や集落活動への支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新規に取り組みを希望する集落の掘り起こしを行い、耕作放棄地の解消や予防を促進していく。 第5期(R2~R6)事業にて新規拡充された事業メニュー(集落機能加算等)について、事業の活用を広める。 各組織に対し、第6期(R7~R11)事業への継続の手続きを進めるとともに、活用されていない地域組織に対し周知を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	51360 耕作放棄地対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	農業費		根拠計画		農業振興地域整備計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	3	農業振興費					
担当課	農政部 農務課	内線	2227							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地を解消することで、農産物の生産供給のほか、農地による洪水防止など国土の保全を向上させ、農村環境や自然環境を維持する。 地域の団体や企業が、耕作放棄地対策に取り組むことで、地域の振興と住民同士の連携体制を強化する。 	概要	耕作放棄地を解消しようとする団体や認定農業者による、農地を再生するための活動に対して支援する。
----	--	----	---

総会計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
担い手への農地集積率	43.8%	44.7%	60%
不作付地面積	316.3ha	335.8ha	↘

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	7,500	7,496	6,500	6,500	6,281	△ 1,215	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			2,000	2,000	6,000	6,000	
一般財源	7,500	7,496	4,500	4,500	281	△ 7,215	
個票枝番	主な事業内容						
	耕作放棄地再生利用事業に対する助成	7,500	7,496	6,500	6,500	6,281	△ 1,215

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
6,500	6,500	6,500	0
6,500	6,500	6,500	2,000
査定額	説明		
6,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 高山地域 2個人(0.45ha、0.61ha) トマトの作付け 久々野地域 1団体(1.19ha) ブドウの作付け 合計 3件 2.25ha
評価等	・事業費ベースで、利用率がH31は99%、R2は99%であった。農家の寄り合いや会合等の場、窓口や電話での農地相談時において制度説明を積極的に行った結果、R3も100%に近い利用率となったが、多くの申請者が農地再生と有効利用につなげられるよう制度の検討が必要である。 ・各支所との耕作放棄地に関する情報共有や、相談農家への制度説明を積極的に行った。引き続き、規模縮小希望農家から担い手農家への農地集積を図るため、農地利用最適化の推進に向けた活動を積極的に進める必要がある。 ・耕作放棄地全体調査結果 R2:125ha ⇒ R3:113ha (12ha減)
次年度以降の考え方(担当課)	・非農家に対する農地利用規制等の緩和の実施も踏まえ、農地の再生と有効利用を図るため、対象者や補助率などの要件の見直しを検討する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 高山地域 2個人(0.47ha、0.52ha) ほうれん草、にんにくの作付け 丹生川地域 1個人(0.43ha) トマトの作付け 合計 3件 1.41ha
評価等	・例年、ほぼ100%に近い執行率となっており、農地の再生や有効利用に活用された。 ・長年にわたる制度周知の成果により、制度の認知も進んでいる。 ・耕作放棄地全体調査結果 R3:113ha ⇒ R4:127ha(14ha増)
次年度以降の考え方(担当課)	・今後も多くの申請者が農地再生と有効利用に活用されるよう制度周知を積極的に行うとともに、新規就農者などを含めた多様な農業者に制度が活用されるよう、対象者など要件の見直しを検討する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和4年度決算)

事業名	54100 農業土木施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	4	農業土木費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
			目	1	農業土木総務費					
担当課	農政部 農務課	内線	2229							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 用排水路等の農業用施設の機能維持、機能回復または機能改良 豪雨時においてダムによる洪水調整を行い、下流域における市民の安全を確保し、生活施設、農業生産施設、農作物等の被害を防止する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 用排水路等の農業用施設の修繕・改修整備、防災ダムの保守点検
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	229.9億円	241.8億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		35,862	33,989	40,376	40,465	37,439	3,450
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金、農業農村整備事業費等)	30	189	2,244	2,244	2,205	2,016
	その他(農業用施設改良事業費(市単事業)10/100等)	11,750	10,853	11,733	11,773	11,001	148
一般財源		24,082	22,947	26,399	26,448	24,233	1,286
個票枝番	主な事業内容						
	防災ダムの維持管理	1,795	1,458	3,105	3,194	2,406	948
	農業用施設工事(用水路等工事 分担金あり)	10,000	7,175	10,000	10,000	8,434	1,259
	農業用施設工事(排水路等工事 分担金なし)	10,000	12,475	10,000	10,000	11,029	△ 1,446
	農業用施設修繕用原材料支給	5,000	4,976	5,000	5,000	4,955	△ 21
	小水力発電所の維持管理	5,700	4,842	5,460	5,460	4,722	△ 120
◎ 1	農道橋長寿命化改修計画策定			3,000	3,000	2,860	2,860

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		46,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
71,485	71,260	71,260	30,884			
6,250	6,264	6,264	4,020			
19,098	19,141	19,141	7,408			
46,137	45,855	45,855	19,456			
査定額	説明					
4,055						
11,500						
33,500						
5,000						
5,500						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 宮川、久々野防災ダム 施設維持管理(支障木除去、法面草刈り) 荘川清流発電所 施設維持管理(発電機器・除塵機点検、維持管理) 農業用施設工事(用水路等工事 分担金あり) 11件 農業用施設修繕工事(排水路等工事 分担金なし) 18件 広域営農圃地農道清掃 農業用施設修繕用原材料の支給
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 防災ダムについては適正に施設点検・維持管理を行った。 小水力発電の運営に際し地元水路管理組合と円滑な流水確保を行った。 地域からの農業用施設修繕の要望に対し、老朽化した施設の修繕を行い長寿命化を図ることができた。 市内の用排水路等の農業用施設は老朽化が顕著であり、農業用施設の修繕に係るニーズは高くなっているため、町内会等と調整が必要。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 防災ダム施設の適正な状態を保つために、定期的な保守点検・施設修繕・部品交換などを計画的に実施する。 小水力発電施設の適正な運営に向け、水路維持管理組合と流水確保を図るとともに定期的な保守点検を実施する。 農業用施設の維持・長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との更なる調整をすすめる。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 宮川、久々野防災ダム 施設維持管理(支障木除去、法面草刈り) 荘川清流発電所 施設維持管理(発電機器・除塵機点検、維持管理) 農業用施設工事(用水路等工事 分担金あり) 12件 農業用施設修繕工事(排水路等工事 分担金なし) 13件 広域営農圃地農道清掃 農業用施設修繕用原材料の支給
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 防災ダムについては適正に施設点検・維持管理を行った。 小水力発電の運営に際し地元水路管理組合と円滑な流水確保を行った。 地域からの農業用施設修繕の要望に対し、老朽化した施設の修繕を行い長寿命化を図ることができた。 市内の用排水路等の農業用施設は老朽化が顕著であり、農業用施設の修繕に係るニーズは高くなっているため、町内会等と調整が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 防災ダム施設の適正な状態を保つために、定期的な保守点検・施設修繕・部品交換などを計画的に実施する。 小水力発電施設の適正な運営に向け、水路維持管理組合と流水確保を図るとともに定期的な保守点検を実施する。 農業用施設の維持・長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との更なる調整をすすめる。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 農業用施設工事・農業用施設修繕工事について、県単土地改良事業の新規追加に必要な経費を計上 農業用施設修繕工事(分担金なし)について、県道改良事業(橋梁架替)に伴う用水管橋の移設工事に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	54100 農業土木施設整備事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部農務課
枝番・内容	1 農道橋長寿命化改修計画策定		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	5	農林水産業費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	4	農業土木費	内線	2229	
			<input type="checkbox"/>		目	1	農業土木総務費	作成年月	R5.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・農道に架かる橋梁の機能保持と長寿命化を図り、農村地域の農業経営及び生活基盤の持続を図る。	概要	・農道橋の機能保持と長寿命化を図る計画を策定し、機能修繕工事を進める。
----	---	----	-------------------------------------

【参考】R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	3,000
主な経費	・農道橋個別施設計画策定業務委託	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do-Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	3,000
	繰越	
	補正等	
	最終	3,000
決算額		2,860
対前年度増減額(決算)		2,860

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	要求額	
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・農道橋の長寿命化等に向けた個別施設計画の策定。 ・農道橋 5箇所
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・市が管理する農道橋(橋長15m以上)について、5年に1回のサイクルで行う橋梁点検を実施。 ・点検に基づき、農道橋の長寿命化等に向けた個別計画の策定を実施。
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> ・市が管理する農道橋(橋長15m以上)について、5年に1回のサイクルで行い、構造物の健全度を確認した。 ・点検結果に基づき構造物の健全度を把握し、長寿命化のための対策工法の検討と橋梁の優先度の判定を行い個別計画の策定を行うことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和4年度決算)

事業名	54120 農村環境多面的機能向上事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	4	農業土木費	根拠計画	過疎地域持続的発展計画			
			目	1	農業土木総務費					
担当課	農政部 農務課	内線	2229							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・脆弱化しつつある地域共同活動を再構築し、農業用施設の保全(長寿命化)をするとともに、農村環境の保全など、地域農業の発展と農山村地域の活性化を図る。	概要	・各地域の活動組織と市との間で締結した「農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上に対する協定」に基づく取り組みに対し支援する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	229.9億円	248.1億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	229,120	195,806	221,120	221,120	189,294	△ 6,512	
特定財源							
国費()							
県費(農村環境多面的機能向上事業費 3/4、10/10)	171,540	146,889	165,870	165,870	142,020	△ 4,869	
その他()							
一般財源	57,580	48,917	55,250	55,250	47,274	△ 1,643	
個票枝番	主な事業内容						
	多面的機能支払事業補助金	229,000	195,692	221,000	221,000	189,174	△ 6,518

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額	229,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
221,140	204,520	204,520	△ 16,600
166,010	153,420	153,420	△ 12,450
55,130	51,100	51,100	△ 4,150
査定額	説明		
204,400	82組織		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・農業の水源かん養機能や洪水防止機能等の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援 ・74組織 2,902ha
評価等	・新規参加により面積が増加した。地域資源の質的向上を更に図るため、共同活動の支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・各地域の農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上を図るために必要な事業であり、引き続き事業を実施していく。

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・農業の水源かん養機能や洪水防止機能等の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援 ・81組織 2,819ha
評価等	・新規参加により面積が増加した。地域資源の質的向上を更に図るため、共同活動の支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・各地域の農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上を図るために必要な事業であり、引き続き事業を実施していく。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	54200 県営土地改良事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	4	農業土木費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
			目	2	土地改良費					
担当課	農政部 農務課	内線	2229							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 農業基盤である農地農道・用排水路等の整備を行い、農業経営の安定を図る。 農道橋耐震補強や防災ダム・ため池等の補強を行い、防災対策を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 県が事業主体となって農地農道・用排水路等の整備を行う。 市と地元受益者は、整備にかかる事業費の一部を負担する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	229.9億円	241.8億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		66,000	59,535	64,625	64,625	56,886	△ 2,649
特定財源	国費()						
	県費(中山間地域農業基盤整備事業費 10/10 等)	2,850	1,574	6,580	6,580	6,482	4,908
	その他(土地改良事業費、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	12,000	11,353	14,662	14,662	12,750	1,397
一般財源		51,150	46,608	43,383	43,383	37,654	△ 8,954
個票枝番	主な事業内容						
	県営中山間地域総合整備	44,400	39,375	39,745	39,745	31,575	△ 7,800
	県営かんがい排水整備						
	中山間地域総合整備事業の受益者分担金に対する補助	2,850	1,574	2,580	2,580	2,486	912
◎ 1	県営土地改良事業			14,300	14,300	14,835	14,835
	広域営農団地農道整備	18,750	18,525				△ 18,525
	県営特定農業用施設等災害復旧		61				△ 61

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算	実施計画額	87,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
87,330	87,330	87,330	22,705	
27,360	27,360	27,360	20,780	
14,731	14,731	17,731	3,069	
45,239	45,239	42,239	△ 1,144	
査定額	説明			
38,100				
9,600				
21,510				
18,120				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 広域営農団地農道整備事業 道路付帯工事 県営中山間地域総合整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 東高山地区 用水路工事 国府上宝地区 用水路工事、農道工事 南高山地区 用水路測量委託、農道測量調査委託
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施地区における農業施設の長寿命化を図ることができた。 県営事業の今後の実施について、事業の精査を十分に行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き県と調整を行い、事業推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 県営中山間地域総合整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 東高山地区 用水路工事、農道橋耐震工事 国府上宝地区 用水路工事、農道工事 南高山地区 用水路測量委託、農道測量調査委託 清見荘川地区 用水路測量委託、農道測量委託 県営土地改良事業 <ul style="list-style-type: none"> 中根地区 用水路測量委託 宮川防災ダム 非常用発電施設機器単体費・設置工事 小屋名第2ため池 ため池整備測量委託
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施地区における農業施設の長寿命化を図ることができた。 県営事業の今後の実施について、事業の精査を十分に行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き県と調整を行い、事業推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> かんがい排水整備事業(長倉)、農道施設強化対策事業(小屋名橋)、農村地域防災減災事業(久々野防災ダム)について新規事業実施に必要な負担金を計上 中山間総合整備事業(国府上宝)完了に伴う受益者分担金に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	54200 県営土地改良事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部農務課	
枝番・内容	1 県営土地改良事業		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	5	農林水産業費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	農業土木費	内線			2229
		<input type="checkbox"/>		目		2	土地改良費	作成年月			R5.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 農業基盤である農業用排水路の整備を行い、農業経営の安定を図る。 農道橋耐震補強や防災ダム・ため池等の整備を行い、防災対策を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 県が事業主体となり実施する事業に対し、市と地元で負担金を支出
----	---	----	--

【参考】R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	14,300
主な経費	・負担金	
対前年度増減額(当初予算)		14,300

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do-Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	14,300
	繰越	
	補正等	
	最終	14,300
決算額		14,835
対前年度増減額(決算)		14,835

R5当初予算(Action) (千円)

査定額	当初	18,120
主な経費	・負担金	
対前年度増減額(当初予算)		3,820

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> 県が事業主体となり実施する事業に対し、市と地元で負担金を支出。令和4年度から、かんがい排水(中根地区)、ため池防災対策事業(宮川防災ダム) ため池整備事業(小屋名第2ため池)を新たに実施。 <p>【実施地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> かんがい排水(中根地区) 丹生川地域 バイプライン、深谷ダム制御機器等更新 R4~R8 ため池防災対策事業(宮川防災ダム) 一之宮地域 非常用電源、通信設備等整備 R4 ため池整備事業(小屋名第2ため池) 久々野地域 堤体、洪水吐等修繕 R4~R8
[スケジュール]	

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> かんがい排水(中根地区) 測量設計業務委託 ため池防災対策事業(宮川防災ダム) 非常用電源、通信設備等整備工事 ため池整備事業(小屋名第2ため池) 測量設計業務委託
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施地区における農業用施設の長寿命化を図る事ができた。 測量設計については、地元関係者との協議により整備計画を立案することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、農業用施設の長寿命化を図るため、事業を推進していく必要がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> 県が事業主体となり実施する事業に対し、市と地元で負担金を支出。令和5年度から、農道施設強化対策事業(小屋名橋)、農村地域防災減災事業(久々野防災2期)を新たに実施。 <p>【実施地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農道施設強化対策事業(小屋名橋) 久々野町地域 橋梁耐震補強、舗装修繕(R5~R7) 農村地域防災減災事業(久々野防災2期) 久々野町地域 防災ダム洪水吐修繕、取水設備修繕(R5~R8)
[スケジュール]	

事業シート(令和4年度決算)

事業名	54210 土地改良事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	4	農業土木費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
			目	2	土地改良費					
担当課	農政部 農務課	内線	2229							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良施設の機能保持と長寿命化を図る。 ・小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を交付することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良事業を実施した地区において、その施設の長寿命化等を図る取り組みに対して支援する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	229.9億円	241.8億円	230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		13,910	12,875	16,540	16,540	15,680	2,805
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(土地改良施設維持管理適正化事業雑入、土地改良事業費)	7,175	6,588	10,175	10,175	10,025	3,437
一般財源		6,735	6,287	6,365	6,365	5,655	△ 632
個票枝番	主な事業内容						
	土地改良施設維持管理適正化事業負担金	5,910	5,870	5,540	5,540	5,538	△ 332
◎ 1	土地改良施設維持管理適正化工事	8,000	7,005	11,000	11,000	10,142	3,137

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		22,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
30,786	30,790	30,790	14,250	
24,100	24,100	24,100	13,925	
6,686	6,690	6,690	325	
査定額	説明			
5,790	負担金			
25,000	荒神洞団地揚水機場、大萱揚水機場			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中切揚水機場ポンプ(A)(B)整備補修工事 ・農業用施設整備事業負担金(債務負担)支払 11件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・適正化事業の今後の実施について、引き続き十分に精査を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・適正化事業は、引き続き県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨東部滝団地揚水機場ポンプ整備補修工事 ・上野平用水排水弁整備補修工事 ・農業用施設整備事業負担金(債務負担)支払 11件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・適正化事業の今後の実施について、引き続き十分に精査を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・適正化事業は、引き続き県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・揚水機(2箇所)について、更新に必要な工事費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査
-------------------	--

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・財務部査定のとおりに
--------------	---

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	54210 土地改良事業費	区分	<input type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部農務課
枝番・内容	1 土地改良施設維持管理適正化工事		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input checked="" type="checkbox"/> R5拡充		款	5	農林水産業費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	4	農業土木費	内線	2229	
			<input type="checkbox"/>		目	2	土地改良費	作成年月	R5.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・土地改良施設の機能保持と長寿命化を図る。 ・小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を交付することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。	概要	・土地改良施設の機能保持と長寿命化を図るため、施設の修繕・更新を行う。 ・小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を交付することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。
----	---	----	---

【参考】R3決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	8,000
	繰越	
	補正等	
	最終	8,000
決算額		7,005
対前年度増減額(決算)		△ 8,176

【参考】R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	11,000
主な経費	・土地改良施設維持管理適正化工事	
対前年度増減額(当初予算)		3,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do-Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	11,000
	繰越	
	補正等	
	最終	11,000
決算額		10,142
対前年度増減額(決算)		3,137

R5当初予算(Action) (千円)

査定額	当初	25,000
主な経費	・土地改良施設維持管理適正化工事	
対前年度増減額(当初予算)		14,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	・中切揚水機場ポンプ(A)(B)整備補修工事
[評価等]	・ポンプ機器の更新を行い、施設の機能保持と長寿命化を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・適正化事業にて施設の機能保持及び長寿命化を図るため、引き続き県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・施設の長寿命化等を図る取り組みへの支援。 ・上野用水路排泥弁更新、飛騨東部団地(滝団地)揚水機場整備
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	・飛騨東部滝団地揚水機場ポンプ整備補修工事 ・上野平用水排泥弁整備補修工事
[評価等]	・ポンプ機器及び排泥弁の更新を行い、施設の機能保持と長寿命化を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・適正化事業にて施設の機能保持及び長寿命化を図るため、引き続き県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・施設の長寿命化等を図る取り組みへの支援。 ・飛騨東部団地(高山荒神洞)揚水機場整備、大萱揚水機場整備
[スケジュール]	